

# ご使用方法

## 1 予熱する

- ①保温効力をあげるため、あらかじめ保温ケース・飯器に熱湯を少量入れ、1～2分あたためる。  
※菜入れは予熱しないでください。菜入れのふたが変形します。
- ②予熱後はその湯を捨て、水気を十分ふき取る。

## 2 ご飯を入れる

※ご飯は飯器または直接保温ケースに入れることができます。

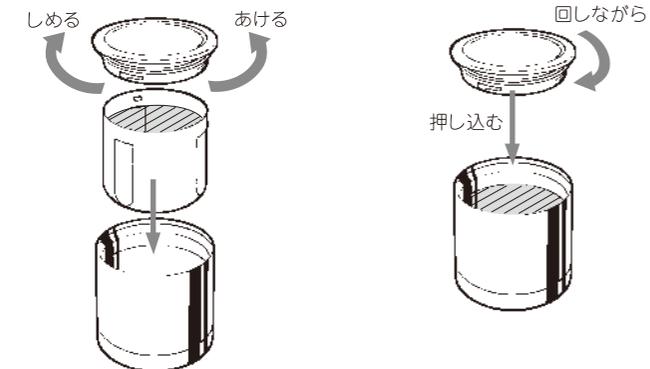
ご飯の量	品番	飯器	保温ケース
	AL-E60	約1.1杯	約1.6杯
	AL-E90	約1.6杯	約2.3杯

### 飯器に入れる場合

- ①熱いご飯を図の①の位置まで入れ、飯器ふたをきっちりと回してしめる。
- ②保温ケースに入れる。

### 保温ケースに入れる場合

- ①熱いご飯を図の①の位置まで入れ、飯器ふたをきっちりと回しながら押し込む。

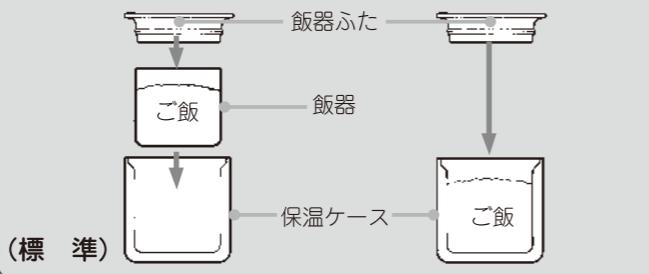


※保温ケースに汁類を入れないでください。もれの原因となります。

1

# ご使用前に、各容器やしなどを洗ってからご使用ください。

ご飯を入れる場合は2通りの方法があり、お好みの量に合わせて、容器を変えることができます。  
※2通りの方法につきましては「ご飯を入れる」をご参照ください。



## 3 菜入れにおかずを入れる

- ①菜入れふたは、ふたのふちから押し上げるようにして開け、おかずを入れる。
- ②菜入れふたと菜入れ本体のふちをかみ合わせながら、菜入れ本体の空気を押し出すように閉める。



**△ご注意** においの強いものや、色の濃いものを直接容器に入れますと、においが発生したり、樹脂が変色したりします。ラップフィルムなどに包んで入れてください。

※菜入れふたに食酢や油類を直接触れないようにする。  
(変形し、もれなど故障の原因)

## 4 ポーチに入れる

- ①飯器セット、菜入れセットを専用のポーチに入れる。菜入れセットを使わない場合でも、必ず飯器セットの横に菜入れセットを入れる。

### じょうずにお使いいただくためには

- ランチジャーは一年中お使いいただけます。夏も冬と同様に飯器または保温ケースには熱いご飯を入れてください。また、おかずが腐敗しないように、よく冷ましてから菜入れセットに入れてください。
- 高温な所（車内など）には放置しないでください。

2

# 安全上のご注意

## 飲食物の保温・保冷以外に使用しない

<p>乳幼児の手の届くところには置かない。またいたずらに注意する。</p> <p>やけど・けがなど危険。</p>	<p>製品の横置きは避ける。</p> <p>もれるおそれ。</p>	<p>倒れたり、落としたり、ぶついたり、強い衝撃を与えない。</p> <p>破損・保温（保冷）効果の低下。サビ・塗装はがれ・内容物がもれる原因。</p>
<p>ストーブやコンロなど火のそばに近づけない。</p> <p>変形・変色の原因。</p>	<p>汁類、おかずを保温ケースに直接入れない。</p> <p>サビなど故障の原因。</p>	

- 保温ケースの底に貼ってある保護シールは絶対にはがさない。はがすと保温（保冷）効果が低下するおそれ。
- 改造や分解修理はしない。故障や事故の原因。
- 冷凍庫に入れない。もれなど故障の原因。
- 火を通したおかずは冷ましてから入れる。腐敗の原因。
- ふたは確実にしめて使用する。もれ・やけどなどのおそれ。

- 飯器ふたパッキンは必ずつけた状態で使用する。内容物がもれる原因。
- 熱いものを入れた場合は、やけどのおそれがあるので注意する。断熱効果により、熱いものを入れても保温ケース外側は熱くなりません。

3

# もれやあふれはやけどや他のものを汚す原因となります。

- 内容物を長時間保存すると腐敗するおそれ。また生もの・乳飲料など変質・腐敗しやすいものの保温はしない。

- 飯器ふたを持って運ばない。落とすと危険。

- 自動車運転中は使用しない。やけどをしたり、車内や衣服を汚す原因。運転者の場合、運転への注意が散漫となり危険。

- ご使用中、ふたをあけた時に水が数滴こぼれ落ちる場合がありますが、これはふたの裏側やびん口部に空気中の水蒸気が結露して水滴となったもので、内容物のもれではありません。

### ポーチについて

- ポーチを持って振りまわさない。
- ポーチは過度の摩擦や水濡れなどにより、多少色落ちや色移りする場合がありますので注意する。
- ポーチに上下逆さに入れない。
- ポーチは丸洗いしない。

### 電子レンジのご使用について

- ※菜入れふた・飯器ふたはレンジで加熱できません。
- 電子レンジで加熱の際はふたをはずして使う。変形や破損の原因。
- 保温ケースを入れない。火花が飛び危険。もれなど故障の原因。
- 複合電子レンジのオープン、グリル機能での使用はしない。他の料理でオープン、グリル機能を使用した後にレンジで加熱する場合は、庫内が冷めてから使う。容器が変形し、故障の原因。
- 各容器の電子レンジでの空焚きは避ける。容器が変形し、故障の原因。
- 油分、糖分の多い食品を長時間加熱しない。容器が変形し、故障の原因。



4

# お手入れの方法

- ◆ご使用後は、必ずその日のうちにお手入れする。
- ◆お手入れするときは、やわらかいスポンジ以外は使用しない。
- ◆においを防ぐため、こまめにお手入れする。

## 菜入れセット・飯器本体・はし箱・はし

- ①台所用洗剤を薄めた湯に浸して洗う。
  - ②水で流し洗いをする。
  - ③乾いた柔らかい布で水気をふいてよく乾燥させる。
- ※菜入れのふたはポリエチレン製の為、70℃以上の湯に入れない。  
(変形し、もれなど故障の原因)

## 飯器ふた

- ①湯で薄めた台所用洗剤を柔らかい布に含ませ、固く絞り、汚れをふき取る。
  - ②水で流し洗いをする。
  - ③乾いた柔らかい布で水気をふいてよく乾燥させる。
- ※つけ洗いはしない。

### ニオイがついた場合の処置

- ①菜入れ 十分に洗った後、水気をふき取り風通しのよい場所に置き、日光で1～2時間乾燥させてください。
- ②飯器 沸とう水を飯器ふた下端まで入れ、飯器ふたをつけたまま1～2時間放置して湯を捨てます。後は菜入れと同様、よく乾燥させてください。

## 保温ケース(内側)

- ①柔らかいスポンジできれいに洗い、十分に乾燥させる。

## 保温ケース(外側)

- ①ぬるま湯が水で丸洗いし、すぐに乾いた布で水分をふきとる。
- ※つけ洗いはしない。

5

# お手入れの方法

つづき

## ポーチ

- ①湯につけた布をかたくしぼってふいたのち、日陰で干す。  
※丸洗いはしない。

## お手入れ上の注意

お手入れ前によくお読みのうえ、必ずお守りください。

- 漂白剤は使用しない。  
サビ・穴あきなど故障の原因。
- シンナー・ベンジン・金属たわし・たわし・みがき粉・クレンザー・化学ぞうきん・台所用以外の洗剤などは使用しない。  
傷・サビなど故障の原因。
- 保温ケース・飯器・飯器ふた・菜入れセットの煮沸および食器洗浄機や食器乾燥機などの使用はしない。  
傷・サビ・変形・もれなど故障の原因。
- 保温ケースは丸洗いができますがつけ洗い(水中に放置)はしない。
- 保温ケースを丸洗った後は必ず水分をふき取る。  
ふき取らないと、水滴のあとが残ったり、サビや他のものを汚す原因。
- 長時間、汚れたままで置いたり、洗いが不十分な場合には、においが発生したり樹脂が変色するので注意する。
- 長時間ご使用にならないときは、よくお手入れをして汚れを落とし、十分乾燥させて高温多湿をさけて保管する。

## パッキンの取りつけ方

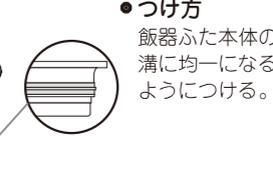
正しく取りつけられていないと、もれの原因となります

## 飯器ふたパッキンのはずし方、つけ方

●はずし方  
飯器ふたパッキンを指でつまみ取りはずす。



●つけ方  
飯器ふた本体の溝に均一になるようにつける。



# 仕様

	材質	耐熱・耐冷温度
菜入れふた	ポリエチレン	70℃・-20℃
菜入れ本体	ポリプロピレン	140℃・-20℃
飯器ふた	ポリプロピレン(発泡スチロール内蔵)	80℃・-20℃
飯器本体	ポリプロピレン	140℃・-20℃
保温ケース	ステンレス鋼	—
はし	メタクリル樹脂	80℃・-20℃
はし箱	ABS樹脂	80℃・-20℃

実容量	品番	菜入れ	飯器	保温ケース
	AL-E60	0.19L×2	0.23L	0.33L
AL-E90	0.31L×2	0.32L	0.47L	

## 修理を依頼される前に

次の項目について点検をおこなってください。いずれの場合にもあてはまらない場合は、お客様相談窓口へご相談ください。

症状	点検するところ	処置
■保温が効かない	保温ケースが損傷していませんか？熱湯をほぼ満量入れ、20～30分後本体胴部を手でさわってみてください。	もし本体が温かいようであれば、お買い上げの販売店にご相談ください。
■ご飯が冷めやすい	熱いご飯を入れていませんか？ ご飯の量が少なくないですか？	熱いご飯を入れてください。また、電子レンジで加熱すると効果的です。(ふた、保温ケースは電子レンジに入れないでください) 量を多くしてください。

# 修理を依頼される前に

つづき

症状	点検するところ	処置
■食物が腐敗した	長時間保存していませんか？ 生もの、乳製品等を入れていませんか？ 温かいおかずを入れていませんか？	できるだけ早く(6時間以内)一度にお召し上がりください。 生ものや乳製品等、変質や腐敗しやすいものは入れないでください。 よく冷ましたおかずを入れてください。

※菜入れ・飯器・パッキン・はしなどは消耗品です。使用後半年から1年をめやすにご確認ください。

## アフターサービス部品について

本取扱説明書に記載されている製品の補修用性能部品の保有期間は、製造打ち切り後5年となっております。その他、製品に関してのお問い合わせにつきましては、お買い上げの販売店もしくはピーコック魔法瓶工業(株)のお客様相談窓口にてご相談ください。

## 消耗部品のご購入について

製品型名・容量・色柄・部品の正しい名称をご確認のうえ、下記方法でお求めください。(製品型名は製品底面に貼ってあるシールに記載されています。)

- ①ホームページ………トップページのオンラインショップからお求めください。(取扱部品に限られておりますが、ご了承ください。)
- ②販売店………ピーコック製品を取扱っている販売店でお取り寄せください。
- ③お客様相談窓口………お電話もしくはFAXにてお申込みください。

部品名	
AL-E型 飯器保温ケース	AL-E型 菜入れセット
AL-E型 飯器ふたパッキン	AL-E型 はし箱
AL-E型 飯器セット	AL-E型 はし

※各消耗部品については、各部のなまえの項目をご覧ください。

ホームページアドレス <https://www.the-peacock.co.jp>

## お客様相談窓口

0570-094891

- 受付時間 9:00～12:00 13:00～17:00  
月曜日～金曜日(祝日・弊社休業日を除く)
- ナビダイヤルがご利用いただけない場合ははこちらへ  
06-6453-9489
- FAXでのお問い合わせ FAX番号 06-6453-9589  
製品の型名(品番)・お問い合わせ内容と、お客様の名前・ご住所・電話番号・FAX番号を記入のうえ、FAXでお問い合わせください。



## ピーコック魔法瓶工業株式会社

本社 〒553-0002 大阪市福島区鷺洲5丁目12番20号

# Peacock

## ステンレスランチジャー (横型・セパレートタイプ)

AL

## 取扱説明書

このたびは、ピーコックステンレスランチジャーをお買い上げいただきまして、まことにありがとうございました。ご使用前にこの説明書を必ずお読みのうえ、正しくお使いください。

## 各部のなまえ



菜入れセット  
飯器セット  
菜入れふた  
飯器ふた  
菜入れ本体  
飯器ふたパッキン  
飯器  
保温ケース  
菜入れふた  
飯器ふたパッキン  
菜入れ本体  
保温ケース  
菜入れ本体  
飯器ふたパッキン  
菜入れセット  
内びん  
外びん  
はし  
はし箱

説明書中のイラストは、実際のものとは異なる場合があります。

後々のため、この説明書を大切に保管してください。④